

2026年

西能取南線道路改良工事の内舗装工事

体 系 化 数 量 集 計 表

網走市役所

レベル1 (工事区分)	道路改良		レベル2 (工種)	法面工					数量集計表			
レベル3 (種別) レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内 訳 数量表 別紙	備 考
									合計			
植生工												
張芝	芝区分:生芝	人力施工による 植生工	m2	工種区分	施工規模	時間的制約区分			100	98.9		
				張芝工	100m2以上300m2未満	無				98.9		

レベル1 (工事区分)	舗装		レベル2 (工種)	舗装工								
レベル3 (種別) レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内 訳 数量表 別紙	備 考
									合計			
アスファルト舗装工												
表層(車道・路肩部)	材料種類:密粒度アスコン、 舗装厚:t=30mm	表層(車道・路肩部)	m2	1層当り平均仕上り厚	平均幅員	材料	瀝青材料種類		760	760.0		
				30.000 mm	1.4m以上3.0m以下	アスコン各種(2.30以上2.40t/m3未満)	タックコート PK-4			760.0		
表層(車道・路肩部)	材料種類:細粒度アスコン、 舗装厚:t=30mm	表層(車道・路肩部)	m2	1層当り平均仕上り厚	平均幅員	材料	瀝青材料種類		122	121.5		
				30.000 mm	3.0m超	アスコン各種(2.30以上2.40t/m3未満)	プライムコート PK-3			121.5		

レベル1 (工事区分)	舗装		レベル2 (工種)	区画線工								
レベル3 (種別) レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内 訳 数量表 別紙	備 考
									合計			
区画線工												
区画線設置	規格・仕様区分:外側線 (白,実線)常温式 W=15cm ペイント式溶剤型	区画線設置	m	夜間作業の有無	施工方法区分	豪雪補正の有無	規格・仕様区分	時間的制約の有無	370	370.0		
				無し	熔解式手動	無し	破線・30cm	無し		370.0		
				塗布厚	排水性舗装施工	未供用区間	塗料規格	塗料区分				
				1.5mm	無し	無し	含有量15～18%	白				

レベル 2 法 面 エ

[illegible]

レベル 2 舗 装 エ



レベル 2 区 画 線 工





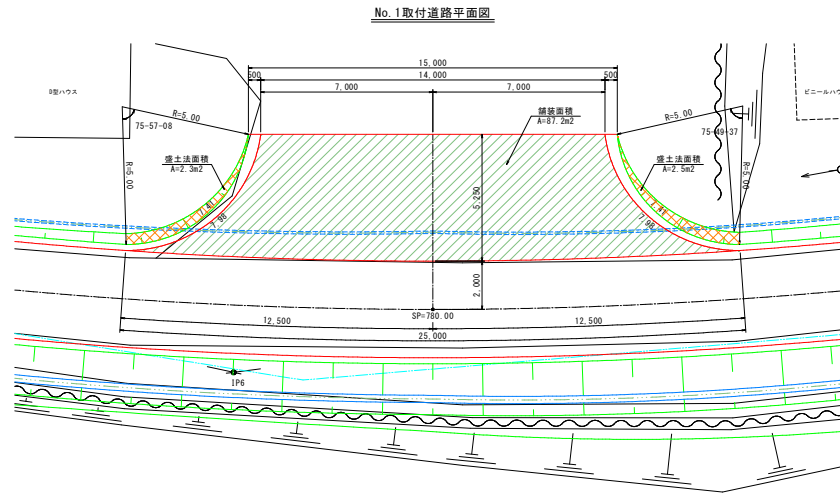
## レベル 2 取付道路工

工種（レベル2） 取付道路工

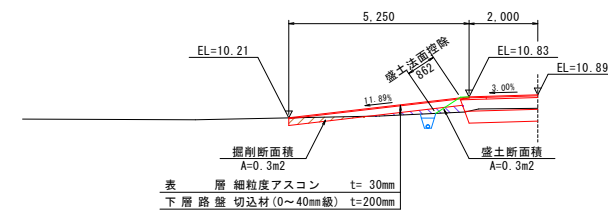
# No.1 取付道路数量計算書

略

図



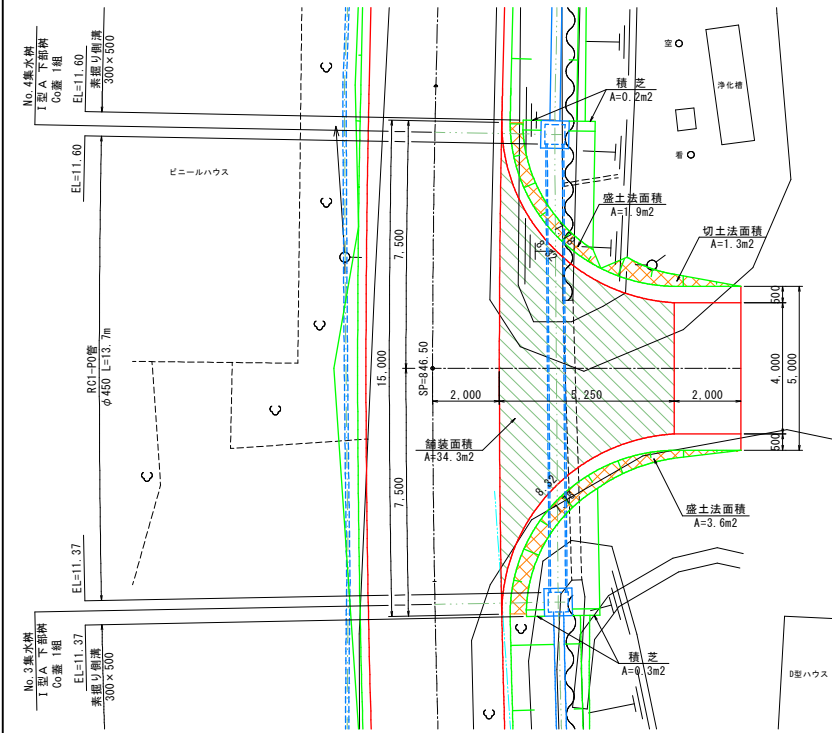
No.1取付道路側面図



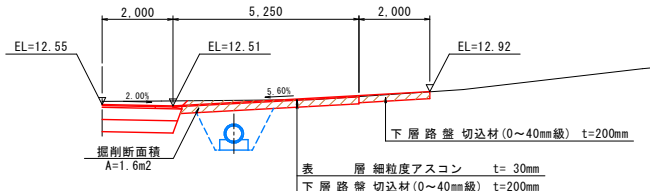
種別（レベル3） 細目（レベル4）	規格（レベル5）	計 算 式	単位	数 量	備 考
作業土工		$V = 0.3 \times (25.00 + 15.00) \div 2$	m3	6.0	道路土工に計上
掘削		$V = 0.3 \times (25.00 + 15.00) \div 2$	m3	6.0	道路土工に計上
盛土		$A = (2.3 + 2.5) \times 1.202$	m2	5.8	道路土工に計上
盛土法面整形		$A = 0.862 \times 25.00$	m2	21.6	道路土工に計上
盛土法面整形控除		$A = 87.2$	m2	87.2	舗装工に計上
アスファルト舗装工	補足材：無	$A = 87.2$	m2	87.2	舗装工に計上
不陸整正	切込材（0～40mm級） t=200mm	$A = 87.2$	m2	87.2	舗装工に計上
下層路盤（車道・路肩部）	細粒度アスコン t=30mm W≧3.0m	$A = 87.2$	m2	87.2	舗装工に計上
表層（車道・路肩部）		$A = (0.25 + 0.50) \div 2 \times (7.41 + 7.98 + 7.41 + 7.98) \div 2$	m2	5.8	法面工に計上
植生工		$A = (2.3 + 2.5) \times 1.202$	m2	5.8	法面工に計上
路肩張芝					
腐植酸類種子散布工					

义

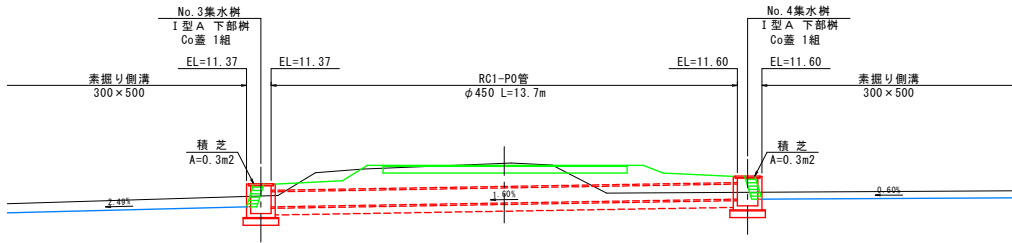
No. 2取付道路平面図



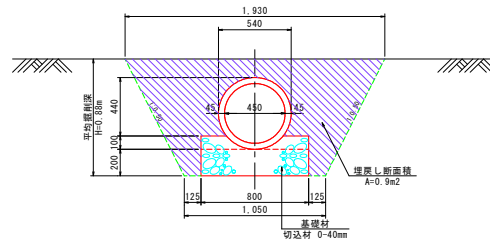
No. 2取付道路側面図



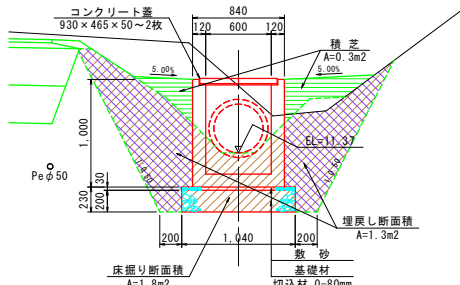
No. 1 縦断管側面図



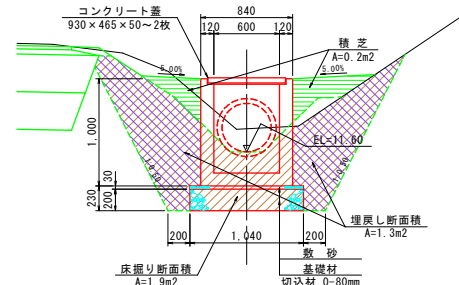
RC1-P0管断面图



No. 3集水樹詳細図  
I 型 A 樹



No. 4集水樹詳細図  
I 型 A 樹



工種（レベル2）		取付道路工		No.2 取付道路数量計算書			
種別（レベル3） 細目（レベル4）	規格（レベル5）	計 算 式	単位	数 量	備 考		
作業土工 掘削		$V = \frac{\text{掘削断面} \times (\text{道路側延長} + \text{真地側延長})}{2}$ $V = 1.6 \times (15.00 + 5.00) \div 2$	m3	16.0	道路土工に計上		
床掘り	小規模	$V = v1 + v2 + v3$ $V = 18.0 + 1.5 + 1.6$	m3	21.1	排水構造物工に計上		
RC1-P0管		$v1 = \frac{(\text{上幅} + \text{下幅})}{2} \times \text{高さ} \times \text{延長}$ $v1 = (1.93 + 1.05) \div 2 \times 0.88 \times 13.70$	m3	18.0			
No.3集水樹		$v2 = \text{床掘り断面積} \times \text{延長}$ $v2 = 1.8 \times 0.84$	m3	1.5			
No.4集水樹		$v3 = \text{床掘り断面積} \times \text{延長}$ $v3 = 1.0 \times 0.84$	m3	1.6			
埋戻し	小規模	$V = v1 + v2 + v3$ $V = 12.3 + 1.1 + 1.1$	m3	14.5	排水構造物工に計上		
RC1-P0管		$v1 = \text{埋戻し断面積} \times \text{延長}$ $v1 = 0.9 \times 13.70$	m3	12.3			
No.3集水樹		$v2 = \text{埋戻し断面積} \times \text{延長}$ $v2 = 1.3 \times 0.84$	m3	1.1			
No.4集水樹		$v3 = \text{埋戻し断面積} \times \text{延長}$ $v3 = 1.3 \times 0.84$	m3	1.1			
切土法面整形		$A = \text{切土法面積} \times \text{斜率}$ $A = 1.3 \times 1.414$	m2	1.8	道路土工に計上		
盛土法面整形		$A = \frac{(\text{盛土法面積1} + \text{盛土法面積2}) \times \text{斜率}}{2}$ $A = (1.9 + 3.6) \times 1.202$	m2	6.6	道路土工に計上		
植生工 積芝		$A = \text{No.3集水樹} + \text{No.4集水樹}$ $A = 0.3 + 0.2$	m2	0.5	法面工に計上		
路肩張芝		$A = \frac{(\text{路肩幅1} + \text{路肩幅2})}{2} \times (\text{路肩延長L1} + \text{路肩延長L2} + \text{路肩延長R1} + \text{路肩延長R2}) \div 2 + \text{路肩幅3} \times \text{路肩延長3} \times 2$ $A = (0.25 + 0.50) \div 2 \times (7.78 + 8.32 + 7.78 + 8.32) \div 2 + 0.50 \times 2.00 \times 2$	m2	8.0	法面工に計上		
有機材種子散布工		$A = \text{切土法面積} \times \text{斜率}$ $A = 1.3 \times 1.414$	m2	1.8	法面工に計上		
腐植酸類種子散布工		$A = \frac{(\text{盛土法面積1} + \text{盛土法面積2}) \times \text{斜率}}{2}$ $A = (1.9 + 3.6) \times 1.202$	m2	6.6	法面工に計上		
管渠工 鉄筋コンクリート管 (RC1-P0管)	φ450mm 1種 砂利基礎	$L = \text{縦断管延長}$ $L = 13.7$	m	13.7	排水構造物工に計上		
集水樹・マンホール工 集水樹 (I 型 A)	下部樹 Co蓋	$N = \text{No3集水樹} + \text{No4集水樹}$ $N = 1.0 + 1.0$	基	2.0	排水構造物工に計上		

[illegible]